オットーボック装具　取扱説明書 ②　（製品篇）

50K13　ゲニュ　アレクサ

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書①（基本篇）と取扱説明書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。
また取扱説明書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

膝装具 (硬性)『50K13 ゲニュ アレクサ』は、膝関節の機能をサポートするための装具です。
膝の前十字靭帯（ACL)、後十字靭帯 (PCL)、内側側副靭帯（MCL)、外側側副靭帯（LCL)、関節包内靭帯の損傷後や術後等の膝関節の固定や支持、保護などを目的として使用してください。

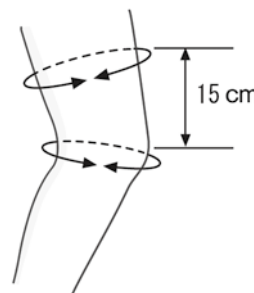
⚠ 注意	● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

【特徴 / 構造】

本製品は、アルミ製の本体フレームを中心に、大腿・下腿部のプラスチック製アジャスメントシェルと各ストラップベルトの調整により、不安定な膝関節を前後・内外側方向に支持します。
大腿・下腿部のアジャスメントシェルには柔軟性があり、大腿・下腿にフィットします。そのため、本体フレームはフィッティングのために変形させる必要がないので、ジョイントの軸がずれ難い特徴があります。
膝関節の可動域調整は、人間の膝関節に近い動きを可能とする 2 軸ジョイントによって行います。この 2 軸ジョイントは、前後に、伸展制限 5 種、屈曲制限 8 種から選択できる ROM 調整チップをはめ込む『 **Click 2 Go システム** 』を採用し、簡単に交換したり組合わせたりすることで膝角度調整を容易に行うことができます。

【サイズの選び方】

以下参照しサイズを選択してください。　　　　（一箱 :1 個入り）

発注品番		サイズ	適用範囲	
			膝蓋骨中心周径(cm)	大腿周径(cm)
50K13=R-S	右	S	32.0～37.0	39.0～46.0
50A13=R-M		M	37.0～41.0	46.0～53.0
50A13=R-L		L	41.0～46.0	53.0～61.0
50A13=R-XL		XL	46.0～50.0	61.0～69.0
50A13=R-XXL		XXL	50.0～56.0	69.0～79.0
50A13=L-S	左	S	32.0～37.0	39.0～46.0
50A13=L-M		M	37.0～41.0	46.0～53.0
50A13=L-L		L	41.0～46.0	53.0～61.0
50A13=L-XL		XL	46.0～50.0	61.0～69.0
50A13=L-XXL		XXL	50.0～56.0	69.0～79.0

15 cm

※ 計測値が 2 サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。
※ XL、XXL サイズはドイツからの取寄せとなります。

【サイズの測り方】
イラストのように膝蓋骨中心の周径と、膝蓋骨中心から上 15cm の大腿部周径を測ります。

【調整方法と装着手順】

⚠ 注意	● 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。
備　考	● 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。

装着前に取扱説明書①基本篇の【使用上の注意ー必ずお読みくださいー】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。

⇒　次頁に続く

1.『 Click 2 Go システム 』による膝関節幅のクリアランス設定

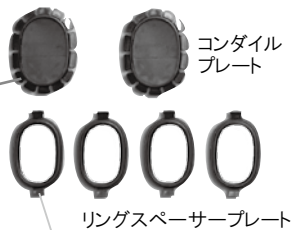
写真 1- ①

① 本製品には、『コンダイルプレート』と膝継手の間にはめ込む 5mm のクリアランス調整用の『リングスペーサープレート』が同封されています。これにより、内側、外側のそれぞれの膝関節のクリアランス幅を簡便に調整することができます（写真 1- ①）。

写真 1- ②

写真 1- ③

② 『リングスペーサープレート』をはめ込む際には、まず膝継手から『コンダイルパッド』と『コンダイルプレート』を取外します（写真1- ②）。

③ 必要な幅分の『リングスペーサープレート』を『膝ヒンジ』にはめ込んだ後、上から『コンダイルプレート』をはめて固定し、『コンダイルパッド』を面ファスナーで取付けます（写真1- ③）。

⚠ 注意	● アルミニウム製の本体フレーム（金属部分）の曲げ加工など変形を加えることは行わないでください。フレームに連動する膝継手のアライメントを崩すだけでなく、連続的に装着する場合には膝継手部分の早期磨耗による劣化をまねくおそれがあります。

2.『 Click 2 Go システム 』による膝継手の ROM 設定

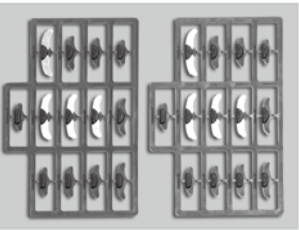



写真2- ①

① 本製品には膝関節可動域を制限するために、以下の角度制限用チップ（『ROM チップ』）が同梱されています。

【ROM チップ】
伸展用 (つまみ形状 : 正方形) 6° /10° /20° /30° /45°
屈曲用 (つまみ形状 : 円形) 6° /10° / 20° /30° /45° /60° /75° / 90°

写真2- ②

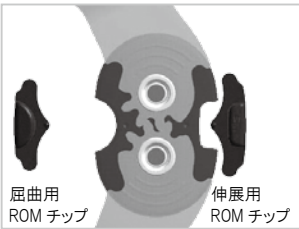



写真2- ③

② 可動域調整する際は、『コンダイルパッド』、『コンダイルプレート』を外します。『リングスペーサープレート』が取付けられている場合には、こちらも外します。

③ 角度制限に必要な『伸展用 ROM チップ』を膝継手前部の差込口に『屈曲用 ROM チップ』を膝継手後部の差込口にそれぞれ挿入してください。『ROM チップ』の挿入は比較的軽い力で簡単に行うことができます。

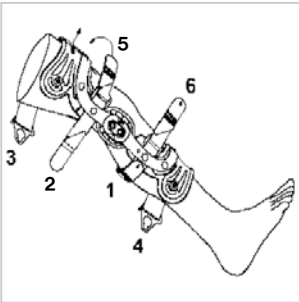
写真2- ④

④ 外した『コンダイルパッド』と『コンダイルプレート』を元の設定の通りにはめ込んで固定します。
『リングスペーサープレート』を外した場合はこちらもはめ込んで固定してください。

⚠ 注意	● 膝関節の可動域の調整の際は、必ず両側（内側および外側）で同じ角度設定となるよう『ROM チップ』の設定を行ってください。

3. 装着の手順 （写真は右膝への装着方法です。）

装着写真①

① すべての『ストラップベルト』を外します。椅子に浅く腰かけ、膝関節が軽度屈曲した状態で装着してください。
まず、膝継手の 2 つの軸の中央が膝蓋骨の上縁とほぼ同じ位置に来るように『本体フレーム』を設置します（装着写真①）。
この時点では、膝関節に対して装具が少し高い位置にありますが、以下の手順で装着することにより、膝蓋骨中央の正しい位置に合うようになります。

図A

② 『ストラップベルト』の『Y フック』に印字されている 1 から6までの番号（図A）の順に『ストラップベルト』を固定してします。各『ストラップベルト』は、適度な強さでしっかりと締めてください。

1	下腿背面ベルト [細]	(装着写真② -1)
2	大腿背面ベルト [細]	(装着写真② -2)
3	大腿カフベルト [太]	(装着写真② -3)
4	下腿カフベルト [太]	(装着写真② -4)
5	大腿前面ベルト [細]	(装着写真② -5)
6	下腿前面ベルト [細]	(装着写真② -6)

写真② -1 下腿背面ベルト

写真② -2 大腿背面ベルト

写真② -3 大腿カフベルト

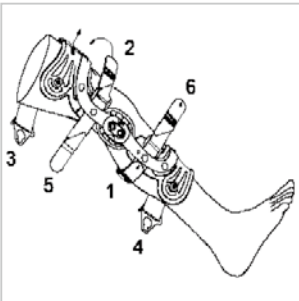
写真② -4 下腿カフベルト

写真② -5 大腿前面ベルト

写真② -6 下腿前面ベルト

写真② -7 装着完了

③ 浮腫や過剰な圧迫を回避するために、装着して 10-15 分間くらい活動した後に、一旦『ストラップベルト』を緩めて、再度、同じ順番で『ストラップベルト』を締め直してください。

4. PCL設定での装着手順

図B

① 大腿部のストラップベルトの交換により、PCL対応として使用することができます。
先ず、図B－2と５の『Yフック』を交換します。

② 次に以下の通り、『Yフック』に印字された番号 (図B) の順に、各『ストラップベルト』を締めてください。

1	下腿背面ベルト [細]	(装着写真② -1)
2	大腿前面ベルト [細]	(装着写真② -5)
3	大腿カフベルト [太]	(装着写真② -3)
4	下腿カフベルト [太]	(装着写真② -4)
5	大腿背面ベルト [細]	(装着写真② -2)
6	下腿前面ベルト [細]	(装着写真② -6)

5. 部品交換／製品の再使用

長期間継続使用する場合などには、必要に応じ、部品を交換することにより、消耗や汚れによる安全性や衛生面のリスクから装着者を守ることできます。

また、本製品は、一人の装着者が使用する場合にかぎり、症状に応じ一旦装着を止めた後、再度装着を再開するケースも含め、同じ製品を繰り返し使用することができますが、使用を再開する場合には、別売の交換用部品セット『29K110 (次ページ 写真5)』を購入し、必要な部品を交換してから使用してください。その際には装着者に、装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを再度ご案内ください。

⚠ 注意	● 装着開始後 2 年以上経た製品は、絶対に継続使用、再使用をしないようにし、新たにご購入ください。 ● 毎回製品を使用する前には、各構成部品の機能や消耗の状態を確認してください。面ファスナーの固定力が弱くなっていたり、他の構成部品に消耗の徴候が見られた場合には、直ちに製品の使用を中止してください。『本体フレーム』･『膝継手』以外は別売の交換用部品（次ページ参照）をご用意しています。必要に応じて部品を交換してください。 ● 過度に磨耗した部品や、皮膚に直接触れる部品は、繰り返し再使用しないでください。製品を再使用する場合には、全ての交換部品がセットされている『29K110(別売品)』の利用をお勧めします。

【交換用部品セット 29K110】

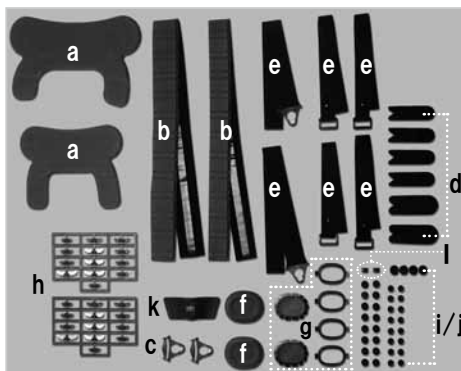



写真5

発注品番		サイズ	セット内容
29K110=R-S	右	S	**a** 29K108 インナーパッド 大腿用1枚 / 下腿用1枚 **b** 29Y184 ストラップベルトパッド(マイクロフック付):2本 **c** 170D20 クイックリリースロック カン:2個 **d** 29K94 Yフックセット(6枚入り):1式 **e** 29K91 ストラップベルト(6本入り):1式 **f** 29K106 コンダイルパッド:2個 **g** 29K107 コンダイルバスケットセット:1式 リングスペーサープレート4枚 / コンダイルプレート2枚) **h** 29K86 ROM調整チップセット:1組 伸展制限:6°/10°/20°/30°/45°(つまみ形状:正方形) 屈曲制限:6°/10°/20°/30°/45°/60°/75°/90°(つまみ形状:円形) **i** 29Y188 プラスチックリベット上 :12-16個入り **j** 29Y189 プラスチックリベット下 :12-16個入り **k** 脛骨パッド:1個 **l** 屈曲ストッパーチップ:1組
29K110=R-M/L		M/L	
29K110=R-XL/LXX		XL	
29K110=L-S	左	S	
29K110=L-M/L		M/L	
29K110=L-XL/XXL		XL/XXL	

【交換部品】

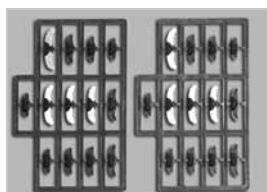
■インナーパッドセット【29K108】

MとL、XLとXXLは共通となります。 大腿用と下腿用が各1枚ずつで1セットとなります。1セット単位での発注

発注品番		サイズ
29K108=R-S	右	S
29K108=R-M/L		M/L
29K108=R-XL/LXX		XL
29K108=L-S	左	S
29K108=L-M/L		M/L
29K108=L-XL/XXL		XL/XXL

■コンダイルバスケットセット【29K107】

コンダイルプレート2枚とリングスペーサープレート4枚で1セットとなります。

1セット単位の発注

■ ROM調整チップセット【29K86】

1セット単位の発注

伸展制限:6°/10°/20°/30°/45°
(つまみ形状:正方形)

屈曲制限:6°/10°/20°/30°/45°/60°/75°/90°
(つまみ形状:円形)

■ストラップベルトパッド【29Y184】

発注品番	サイズ
29Y184=30	30mm x 1m
29Y184=40	40mm x 1m

下腿用は30mm幅、大腿用は40mm幅を使用します。マイクロフックが付属しています。1m単位の発注

■コンダイルパッド【29K106】

1個単位の発注

■クイックリリースロック カン【170D20】

38mm幅(大腿用)のベルトに対応する専用のカンです。1個単位の発注

■ Yフックセット【29K94】

1～6までのナンバリングされています。

■ストラップベルトセット【29K91】

大腿用2本と下腿用4本のセットです。

1セット単位の発注

■プラスチックリベット【29K109】

29Y188と29Y189のセットです。

1セット単位の発注

【お手入れ方法と注意事項】

⚠ 注意	● お手入れをされる場合には、取扱説明書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

・『コンダイルパッド』、『インナーパッド』および『ストラップベルト』などをすべて取外してください。『ストラップベルト』や『本体シェル』の『インナーパッド』などの布製部品には中性洗剤を使用し、手洗いした後、陰干しをして乾燥させてください。

・『本体フレーム(金属部分)』と『本体シェル(プラスチック部分)』などの金属、プラスチックのパーツが汗や海水など塩分を含んだ水分および汚れにさらされた場合には、水で湿らせてから固く絞った布で丁寧に拭き取り、自然乾燥させてください。

【品質表示】 本体フレーム:アルミニウム 本体カバー:発泡フォーム ベルト:ナイロン

お問合わせ先

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-T-50K13-201212-PITIN